認定市民活動団体一覧

認定番号	認定日	団体名	活動分野（略記）	活動内容	備考	今後団体としてやってみたいこと、取り組んでいきたいこと等	団体が抱える問題点や課題
2	H28.7.12	まちづくり茂原サポート	保健医療福祉、社会教育、まちづくり、観光、農村振興、学術文化芸術スポーツ、環境保全、地域安全、男女共同参画、子ども、経済活動、消費者保護、NPO支援	まちづくりサポート活動及びまちづくりに関する調査等、男女共同参画社会づくり・子育て支援活動、地域活性化のための講習会やイベントなどの開催	H30.6.1名称変更		
3	H28.7.20	ナルク茂原	保健医療福祉、社会教育、まちづくり、環境保全、災害救援、男女共同参画、子ども、経済活動、職業能力	時間預託助け合い活動、生活支援活動、地域貢献活動、子ども子育て支援活動、サークル会・学習会・懇話会		市及び福祉関係団体との提携した活動。	新入会員を増やし、会員拡大を図りたい。 高齢会員の「老活」と「人とのつながり」のすすめ。
4	H28.7.26	ボラポイント ボラエモン	その他	ボランティア活動の普及と支援	H30.12.18名称変更 R4.4.1代表者変更、メール変更 R4.6.1住所、連絡先変更	ボラポイント企画を通じて市内ボランティア活動への支援を一層進めたい。	令和7年度での贈呈実績は4件4品全計￥85,000強で終了した。来年度はこれを超える件数実績を目指したい。
5	H28.8.19	豊田キッドシャークス	子ども	スポーツ少年団（野球、卓球、サッカー、ミニバス）			
6	H28.8.19	シビックテックもばら	まちづくり、科学技術	地域課題の発掘並びにICT、GIS及びオープンデータを活用した地域課題解決のためのアプリケーションの開発、地域課題の発掘及び分析のための地域を巻き込んだワークショップやマッピングパーティー等のイベントの開催、地域行政運営ゲーム「SIM」の茂原市版の構築及び普及に関する活動、地域課題の解決やまちづくりに関する研修等への参加、他の市民活動団体や行政、企業等との連携及び協働等		・他の市民活動団体との交流、他団体の事業への参加や運営支援。 ・当団体の行う活動に他の市民活動団体からの参加依頼や共同開催。	あらたな会員の加入が少ない。
7	H28.10.5	木崎西部わくわく広場実行委員会	まちづくり、子ども、地域安全	木崎西部地域に住む人たちの親睦を図る（飯ごう炊き昼食、バザー等）			
8	H28.10.24	談話室	保健医療福祉、まちづくり、地域安全	ひとり暮らしの高齢者相互の親睦、情報交換を行い、高齢者が自宅において自立可能になるよう手助けを行う		介護支援専門員、包括支援センターによる業務内容の勉強会。 口コミを利用した会員募集。	会員の減少。
~~9~~	~~H29.1.25~~	~~NPO法人千葉県空家管理サポート茂原センター~~	~~まちづくり、環境保全、地域安全~~	~~放置された空家・空地所有者に対して適正な管理方法の提案・助言を行い、適正に管理された空家・空地を増やすことで、安全な地域社会づくりに寄与する~~	休止中		
10	H29.5.1	パラスポーツ茂原	学術文化芸術スポーツ	スポーツに関する諸事業を行い、障がいのある人の心身の健康の保持増進及び社会参加の促進を目的とする	R3.5.10代表者変更		
11	H29.6.19	みずすまし会	保健医療福祉、学術文化芸術スポーツ、人権擁護・平和、情報化	視力障害を持つ方、視力が著しく減退し文字を読むことが困難な弱視の方などへ、情報を音にして提供する	R5.10.17代表者変更 R7.6.5代表者変更	スマホで聞ける「声の広報もばら」があることを市民の方々に知っていただきたい。 視覚困難な方々に地域の様々な情報を伝えたい。 市民向け「音訳者養成講座」を」開催したい。	録音機材などが高額な為、入手に苦慮している。
13	H29.6.22	千葉県災害対策コーディネーター茂原	災害救援、地域安全	災害対策コーディネーターに関する情報交換、知識・技術の習得、関係機関との情報交換ならびにネットワークの構築	H30.4.14代表者変更 R4.5.13代表者変更 R6.4.1代表者変更	市内各自主防災組織に対して、災害発生を想定したガレキ救出訓練や身近なものでの応急手当訓練など地元民と実践しながら、会員のスキルアップを図り、共助の手助けをしていきたい。	会員の高齢化が進んでいるため、将来の活動に支障があるのではと心配している。
14	H29.12.6	NPO法人ひびき	保健医療福祉	障害者の豊かな地域及び社会生活拡充のため、質の高いサービスを提供する	R2.11.12住所・連絡先変更	地域のお宅での草刈りや庭木の刈り込みを行っている「手伝い隊」の認知度は高まっている。作業能力には限界があるが、できる限り地域の要望に応えていきたい。施設利用が滞っている利用者へ通所を促す。少しでも多く日中活動を当施設で楽しんでいただきたい。	施設利用者の高齢化や障害の多様化、病気の重度化によって、支援が難しくなっている。
15	H29.12.6	子どもの食と貧困を考える会	社会教育、子ども、その他	こどもの食育、こどもの学習支援、こどもと地域の人々との交流		子ども食堂の立上げ支援（小学校区に1つの子ども食堂）現在、運営している子ども食堂間との定期的な活動交流を中心とした連絡会の準備会を6団体で立ち上げた。今後、より連携を強め、年内を目途に「茂原市子ども食堂連絡会（仮）」の結成をめざす。	
16	H30.3.9	もばら検定「ガス博士」実行委員会	まちづくり、その他	もばら検定「ガス博士」の創設準備、運営			検定試験応募者を増やすことが課題である。
17	H30.4.26	茂原市レクリエーション協会	保健医療福祉、社会教育、学術文化芸術スポーツ、男女共同参画、子ども	レクリエーション運動の普及活動、レクリエーション指導者の養成及び派遣、会員相互の親睦と相互研修、レクリエーションに関する調査・研究	R6.4.1代表者変更	モルック体験を広げ、子供から高齢者まで一緒に楽しみながら市民の健康寿命延伸をサポートしていきます。	他団体と交流を図りながら情報交換をしていきたい。

認定市民活動団体一覧

認定番号	認定日	団体名	活動分野（略記）	活動内容	備考	今後団体としてやってみたいこと、取り組んでいきたいこと等	団体が抱える問題点や課題
18	H30.5.16	NPO法人長生郡市MamaNet～もばら～	保健医療福祉、社会教育、まちづくり、地域安全、子ども、その他	ママたちによるワークショップ型イベントの開催、レポート・誌面の作成等	R5.4.10団体名・事務所所在地変更	上映会、フェスタの継続 夏期、冬期の学び企画	子育てする人の悩みに対して受け皿がまだ足りないと感じる。同内容の団体を増やすか、スタッフを増やす必要がある。または市が学童の受入をさらに増やす。
19	H30.7.19	特定非営利活動法人ディーセント・ライフ	保健医療福祉、社会教育、まちづくり、環境保全、災害救援、地域安全、人権擁護・平和、子ども、情報化、経済活動、職業能力、NPO支援、その他	ユニオンサポート、ジュニアサポート、シニアサポート、地域活性化サポート、自然保全と動植物保護事業	R3.12.15代表者変更 R7.7.14代表者変更	茂原かるたを活用し、今後も茂原のことを知ってもらうためのイベント等の参加をしていきます。また、必要だと思われる社会貢献活動は企画、実行していきます。	
20	H30.10.12	茂原公園自然愛好会	その他	茂原公園の生物多様性及び自然景観の把握、保全、啓発		①引き続き、住みよいまちづくりを目指し、協働の理念に基づいて、茂原公園の生物多様性を保全するための活動を行い、成果をあげていきたい。 ②茂原市との「茂原公園管理事業に関する協定書」の締結による行政担当者の理解と協力を得ながら、活動をより安定的なものとし、市民の理解、周知を図っていきたい。 ③高齢化による健康上の理由や家庭事情などで会員数が激減しているので、公募による作業ボランティアイベント等の開催により、活動を補完、充実するとともに、会員数の増大を図っていきたい。	①会員の高齢化による身体的健康の衰え。 ②高齢化及び家庭事情などによる会員数の激減。
~~21~~	~~R1.7.10~~	~~宝を未来につなぐ寺子屋~~	~~社会教育、災害救援、地域安全、子ども~~	~~家庭・学校と異なる子どもの居場所づくり~~	休止中		
22	R1.12.17	もばら街育プロジェクト	社会教育、まちづくり、観光、学術文化芸術スポーツ、子ども、経済活動	もばら夏まつり、もばらハロウィンフェスタの開催		茂原を活気みなぎる元気な街にしたい！ イベントをブラッシュアップして、訪れる方々の心に残るようなイベントにしていきたい。	・活動資金がイベントごとの協賛金に頼っているため、安定した活動資金の確保が難しい。 ・スタッフが不足している。 ・開催イベントを評価するため、アンケート調査等実施する必要がある。
23	R2.1.8	ちえの和「ほほえみ」	保健医療福祉、社会教育、まちづくり、地域安全、人権擁護・平和、男女共同参画、子ども、職業能力、消費者保護、NPO支援	コミュニティサロンの運営		毎月の座談会テーマの公募	会員数が増えない
25	R2.2.26	子ども・子育て応援団もばら	まちづくり、人権擁護・平和、男女共同参画、子ども	子ども・子育て世代の支援			
27	R2.9.11	企業災害救援隊・HART	災害救援	災害発生時における被災した企業に対する復旧、復興、再建のサポート			
28	R3.5.25	押日地域有害鳥獣被害防止対策協議会	まちづくり、環境保全、地域安全	イノシシ等による地域住民への人的被害が危惧されるため、地域住民による共助で捕獲し、地域環境の確保		さらなる捕獲と他の地域にも活動の仲間を増やせるように啓発したいと考えています。また、若い後継者を育成することです。	
29	R3.5.28	もばら不登校の親の会	まちづくり、子どもの健全育成、情報化社会の発展	不登校の問題を抱えた親の交流と子どもの居場所づくり	R7.6.4代表者等変更	・茂原市近郊で活動しているフリースクールや子育て支援の団体等と交流し、こども達や保護者の方の活動場所を広げて行きたい。 ・イベント等を通じて、不登校の現状を色々な方に知って頂きたい。 ・居場所マップの作成をしたい。	参加人数が減ってきているので、周知方法や活動内容を考えていきたい。
31	R3.10.4	竹林再生プロジェクトもばら	まちづくり、環境保全、子どもの健全育成	荒廃した竹林の再生を通した環境保全（不要竹の伐採等）と青少年育成（水鉄砲・万華鏡・たけのこ堀等）			
33	R4.6.21	Mobara Women's Voice	保健医療福祉、社会教育、まちづくり、学術文化芸術スポーツ、人権擁護・平和、交際協力、男女共同参画、子どもの健全育成、情報化社会の発展、経済活動の活性化	多様な文化や音楽を反映した『音楽(歌)+英語(多言語)』をツールとして学び、声を合わせて歌うことによる、女性の居場所作り		イベントへの参加を増やしていきたい。9月開催の合唱会が好評だったので、定期的な体験会と合わせて開催していかれるように企画したい。	令和7年度は、10月以降の参加希望がない月があったり、会員の病気療養や会員家族の学校行事などで開催がなかったため、8年度は開催時期やペース、開催スタイルを再検討する必要がある。
34	R5.8.28	コスモスユカレリーズ	学術文化芸術スポーツ	楽器（ウクレレを主体とした）演奏等による地域内を中心とした社会福祉施設への慰問活動		依頼のある社会福祉施設等の要望を十分取り入れ、効果の高い慰問活動を行っていく。 メンバーの高齢化も進み、脱会される方も見られるので、新たなメンバーを補充していく。	
~~35~~	~~R6.7.9~~	~~もばらママキッズ~~	~~子どもの健全育成~~	~~子育て中の母親同士が繋がりを持ち、情報共有の場や安らげる環境の中でより良い子育てができるように援助する。~~	R8.4.24役員の妊娠に伴い活動一時休止。6.7月頃に活動再開予定。		
36	R6.10.10	アザレア子ども食堂	保健医療福祉、社会教育、子どもの健全育成、情報化社会の発展、地域安全	子ども食堂を通して、食育や学習支援など子どもを取り巻く環境の改善を行うことで社会に貢献する。		地域の交流の場として、世代を問わず多様な人々が集まり、互いに学び合い、支え合うコミュニティを築くために、さまざまなイベントやワークショップを開催していきたいと考えています。これにより、地域の絆を深め、共に成長できる環境を整えていきます。	活動を継続していくための運営資金の調達
37	R6.10.15	特定非営利活動法人ソーシャルユナイト	保健医療福祉、社会教育、まちづくり、観光振興、環境保全、災害救援、地域安全、人権擁護・平和、子どもの健全育成、情報化社会の発展、経済活動の活性化、職業能力開発・雇用機会拡充支援	地域共生社会の実現に向けて、社会的な不利益や困難に直面している人々に対して、地域の多様な主体と協働し、包括的な支援活動を進める。			

認定市民活動団体一覧

認定番号	認定日	団体名	活動分野（略記）	活動内容	備考	今後団体としてやってみたいこと、取り組んでいきたいこと等	団体が抱える問題点や課題
38	R6.11.29	長生郡市ベビーファーストプロジェクト～もばら～	保健医療福祉、まちづくり、災害救援、地域安全、子どもの健全育成、広域子育て連携推進、少子化対策推進、防災減災対策	企業・行政・個人が一体となった、子どもたちや子育て世代が安心して暮らすことのできる地域づくり			
39	R8.7.29	茂原IVC	国際協力、子どもの健全育成、職業能力の開発又は雇用機会の拡充支援	地域在住外国人を対象にした日本語学習の支援		日本語の学習を希望する在住外国人が増えています。IVCの対応力を一層向上させて、学習希望者の”ことばの壁”の緩和・解消に貢献していきたいと考えています。そのためにも常時、会員参加者を募っています。 また、日本語学習者間での交流を深める仕組み作りや災害時対処法の学習への組み込み、学齢期学習者についての関係機関との協力連携等も取り組んでいきたいと考えています。	・新規会員を増やし会員を拡充したい。語学力や教育経験は問いません。 ・講師費用や時間等の制約で中々研修機会が取れない現状があります。 ・ネット配信教材を使うことも多いのでWi-Fi等の通信環境の改善が望まれます。

※欠番については認定解除団体